

ぼろんていえ VOLONTIERS!

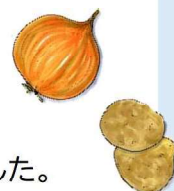


～町田国際交流センターだより～

【編集/発行】

(一財) 町田市文化・国際交流財団
町田国際交流センター

「日本の家庭料理を一緒に作りましょう」



2月16日(日)国際交流部会は、町田市民フォーラム3階の調理室で料理教室を開催しました。寒い日にもかかわらず申込者8名全員参加で始めることが出来ました。出身国別では、バングラデシュ2名、中国3名、タイ1名、日本2名でした。部会員の参加者は11名。4つの調理台にそれぞれ2名と部会員2名以上で位置につきました。

部会長の挨拶と各自己紹介でスタートし、次は料理作りの時間。ちらし寿司、肉じゃが、小松菜のからし和え、お吸い物と4品目。ちらし寿司では材料の種類を入れる順序についてにぎやかに相談していました。時間も長くなりかけました。他の3点は短時間で順番に作ることができました。食べる時間です。寿司と肉じゃがは量が多く食べきれないほどでした。でも、味は大変良かったです。部会員の事前の十分な準備と本番の熱心な相談相手は立派でした。おかげで参加者の皆さまも料理を楽しみ、喜んでいました。次回は品数を少し減らし、試食の時間を長くとり会話をもっと楽しめたらと思います。

国際交流部会 大麻 年征



ぼろんていえ Volontiers! の由来:誘われたとき「喜んで!」と笑顔で応えるフランス語

町田国際交流センターではボランティアを中心に、日本にいる外国の方を支援したり、コミュニケーションの活性化をはかるなど、様々な活動を行っています。

国際交流事業やボランティアのお問い合わせは、町田国際交流センターまで

〒193-0013 東京都町田市原町田 4-9-8 町田市民フォーラム 4F
TEL 042-(722)4260 FAX 042(722)5330



<https://www.machida-kokusai.jp>



E-mail:info@machida-kokusai.jp





「日本で働く海外から来た方々と交流しましょう！」

2月9日(日)に町田市生涯学習センターとの共催講座「日本で働く海外から来た方々と交流しましょう！」を開催し、51名の参加がありました。

第一部は、“花岡英一 Djembe Group & STUDIO BARJARA DANCERS”の皆さんによる西アフリカの打楽器「ジャンベ」の演奏とそれに合わせてのダンス公演でした。「リズムカルなサウンドで、初めて聴きました！」「素晴らしい機会をありがとうございます。」とアンケートに答えた方もいらっしゃいました。

第二部は、日本で働く海外から来た方々による母国の紹介や体験談の発表でした。シリアからのロジバニさんとリビアからのサファハルイさんご夫婦、インドネシアからのインダさん、ポーランドからのマウゴジャタさんの4名のパネリストがそれぞれの母国の様子や、日本語の習得方法、仕事内容、生活状況など様々な経験をパワーポイントなどで示しながらお話しされました。

第三部は、会場の参加者から第二部のパネリストの皆さんへの質疑応答です。「もっと日本で働く外国人の存在を知りたい」とあるとか、「この講座を通して自分も何かに挑戦してみたい」「次回を期待している」といったお話をいただきました。

参加者の年齢層も40代から80代までと幅広く、実りある講座となりました。

国際理解・協力部会 山口 美知子



ボランティアにききました

『楽しみながらスキルアップ！』

外国語部会 仲村 俊輝 さん

(ボランティア活動年数 約7年)



Q：現在どんな活動をしていますか？

A： タイ語クラスのコーディネーターと外国語部会全体の部会長をしています。月2回のクラスでは、テキストに書いてある文法など、日本語で説明が必要な部分をネイティブの先生に代わって受講生の皆さんに説明しています。

Q：活動を始めたきっかけは何ですか？

A： 外国語部会のボランティアは他の部会と違って、始めは皆受講生としてスタートします。私もそうでしたが、何年か受講を続けているうちに推薦のような形でコーディネーターになりました。

Q：活動を通しての感想を聞かせてください

A： 受講生の方から「このクラスのおかげでタイに行った時にタイ語が通じました」という話を聞くと本当に嬉しいです。私自身も受講生から質問を受けたり、クラスのために資料の作成を続けたりしているうちにタイ語のスキルも上がってきました。また、先生と一緒にタイ料理教室を開き、皆と一緒にワイワイやるのも楽しいです。

Q：趣味や、現在の関心事を教えてください

A： 国内、海外を問わず旅行が好きで、日帰りを含めると年に10回ぐらいは旅行します。基本的に”乗り鉄“なので、国内では「青春18きっぷ」を使ってどこでも列車で行きます。目的は列車に乗ることですが、行った先ならではの楽しみもつけてきます。タイ国内でも列車を使って旅行しました。カメラも好きなので、旅先ではよく写真やビデオの撮影をして、帰ってきたらそれを編集して楽しんでいます。

Q：今後の目標は何ですか？

A： もともとパソコンは好きでしたが、アプリなどを使って動画の編集などパソコンの技術のスキルアップをしていきたいですね。タイ語のクラスはリピーターも多いので、毎年少しでも新しい情報をアップデートできるように情報収集にも努めたいですし、新しいAIの技術も取り入れて今までよりもっと楽に、わかりやすい資料を作ることが目標です。

『町田さくらまつり』に出展しました

3月30日(日)、芹が谷公園で開催された「町田さくらまつり」に国際交流センターも出展しました。好天に恵まれ桜も八分咲きとなり、多くの花見客で賑わう中、本のしおり作り体験を実施。準備していた紙片に来場者が自分で選んだ桜や動物のシールを貼り、あっという間にオリジナルしおりのできあがり。裏には、センターのHPとSNSのQRコードがプリントされており、PR効果も期待大！

日本語教室の学習者小林ナタリヤさんによるバルーンアート也大盛況で、列に並んでいた親子連れは皆、ナタリヤさんの手から魔法のようにバルーンの花や犬などが生まれるようすを飽きることなく見つめていました。できあがったバルーンアートを手にした子どもたちは目を輝かせ、ナタリヤさんとの束の間の交流を楽しんでいました。

祭りの来場者や出展者には外国人の姿も数多く見られ、地域に馴染んでいる様子が伺えてセンターの役割の大きさも実感できた春の一日でした。



広報部会 岡村 真理

町田市ごみ分別について日本語教室研修

2月17日(月)から22日(土)までの1週間にわたって日本語教室8クラスでごみ分別について町田市役所環境資源部ごみ収課の方に話していただきました。ごみは全ての人にとって一番身近な問題です。わかりやすいスライドを用いての説明で外国人にも理解できるものでした。もやせるごみ、もやせないごみと資源ごみの分け方、出し方について一部実物を用いての説明や受講者の質問への答えなどで、今まで迷っていたごみの分別がはっきりしました。



また、集められたごみがどのように処理されていくかを町田市バイオエネルギーセンターなどの施設での作業を通じて知ることができました。きちんと分別されていないごみは人の手によって分けられることを知り、きちんと分別することが大事であることがわかりました。

1週間8クラスすべてにお話しいただいた市役所担当者に感謝いたします。

地域日本語コーディネーター 荒明 美奈子

編集後記

風薫る5月、毎日がさわやかな日々。今年も5月の連休が終わり、近郊の山や丘もひと雨ごとに緑が色濃くなっていきます。暑すぎることもない季節、公園ではバラや菖蒲の花が真っ盛り。今月から始まった語学教室の外国語授業にとまどう新人の受講生の姿も。そして今号から変わる「ぼろんていえ」の紙面をご覧ください。

町田市に定住する外国人の方々は年々増えており、今年度もここ国際交流センターでのボランティア活動を皆様とともに頑張っていけたらと思います。

